

桜守 (広報誌第六号)

財団法人

吉野山 保勝会

吉野山保勝会吉野山サクラ調査チームより



京都大学大学院地球環境学堂 地球親和技術学廊 景観生態保全論分野

教授・農学博士 森本 幸裕 先生

吉野山の桜が近年、これまでにまして、どうも具合が悪いという保勝会様のお話は、これまで樹木と緑地の診断と管理を大きなテーマとしてきた私の研究室としても聞き捨てにはできないものでした。私たちはこのたび、大学だけでなく、実際に樹木保全の実績を持つ方々とも合同で吉野山サクラ調査チームを結成し、その状況の診断と処方検討のお手伝いをするようになりました。人間の場合もそうですが、問題が起こった時には、まずなんとか急場をしのぐ方法を講じないといけません。一方、より根本的には、その衰退の原因を探り、長期的な視点で対応を検討していくことが大変大事です。いずれの場合も、まず「診断」がベースになります。私たちは勘だけには頼らず、科学的で客観的な手段で衰退のメカニズムに迫ることで、効果的で合理的な対策を検討し、皆様方にご検討いただく資料を提供したいと思っています。調査の途上ですが、伸長成長が旺盛な割に肥大生長の少ない様子とともに、気候変動や土地利用状況の変化のような長期的で広域の問題と、場所ごとの立地条件と取扱いに関わる問題などがあるようです。これらに全面的に取り組むには、航空機レーザースキャナ計測や、樹木生理生態計測など、かなりの規模になることも見えてきましたが、可能な限り追究していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

桜調査

(平成20年6月～)



桜調査チームが平成20年6月より本格的に調査を開始いたしました。
 (左写真) 気象ステーション
 気象のデータを測定し蓄積する装置
 (中写真) 樹液流速センサー
 土からの樹液のあがってくる流速をはかる装置
 (右写真) NPO法人サンアクトとの会議
 保勝会事務所にて

桜の肥料やり

(平成20年2月13日) 「次回の施肥は平成21年2月16日 午後1時30分より

ご協力をお願いいたします。集合場所は中千本操車場です。



(左写真)：昨年は下千本の駐車場に集合し、下千本付近の桜に肥料を撒きました。(肥料散布には約60名ご参加を頂きました)

(中写真)：下千本公園つる切り急勾配の桜公園 踏ん張る足にも力が入る。

(右写真)：鶏糞200本の肥料を撒きました。

(肥料は「ペレットけいふん」を使用)

保勝会からのお知らせ

○平成21年3月7日(土) 14時～ 会場：奈良県新公会堂能楽ホールにて「さくらフォーラム」が行われます。

レギュラーパネリスト：浜村淳(タレント)・菊川怜(女優) 全体司会：田代杏子

第一部「吉野の桜の今」 第二部「吉野の桜を守り継ぐ人々」 第三部「日本人の心ー吉野の桜」

ミニコンサート：ジュスカ・グランパール

○財団法人吉野山保勝会の会長が北岡篤町長にかわりました。また、本年度より理事メンバーが少なくなりました。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

◆◆◆ 賛助会会員募集中 ◆◆◆

財団法人 吉野山保勝会 〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山 2430
 TEL:0746-32-1877 FAX:0746-32-1217 E-mail hoshoukai@cap.ocn.ne.jp
 URL: <http://www.yoshino.ne.jp/yoshinoyama/>